

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日(課長等)	元 年 9 月 30 日
2次評価日(部長等)	元 年 10 月 1 日

施策評価表

1 施策の概要

施策名	消防・救急体制の充実	コード	9-4
この施策の主な内容(細施策)	(1) 諏訪広域消防本部の一元化 (2) 消防団の充実 (3) 消防力の強化 (4) 火災予防の推進と防災意識の高揚		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	火災や大規模自然災害等から、市民の生命・財産・身体を守るために、消防水利や消防施設を充実させるとともに、地域防災の要である「岡谷市消防団組織」を充実させ、消防力の強化を図る。		
担当部課	部 総務部	課等 消防課	作成者 大下 彰一

●施策の実施内容(D0)

2 施策指標の達成状況

* 第4次総合計画(最終年度:平成30年度)における目標指標の達成状況、第5次総合計画(前期計画:令和5年度)における目標値

施策指標名	単位	28年度	29年度	30年度		元年度	5年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値(第5次)	目標値(第5次前期)
① 消防水利施設の充足率	%	58.7%	58.9%	59.5%	58.9%	99.0%		
指標説明	既存消防水利において基準を満たした(貯水槽40m以上・消火栓150mm以上接続)貯水槽や消火栓の充足率を指標とする。							
② 防災組織への訓練指導回数	回	37	37	35	36	102.9%		
指標説明	市内防災組織への訓練指導、イベント、会議、研修回数。							
③ 消防団員の充足率	%	98.4%	100.0%	100.0%	99.8%	99.8%		
指標説明	岡谷市消防団員の条例定数(549名)に対する実員数を指標とする。							
④ 消防団員数(18~30歳)	人					-	135	180
指標説明	多様な役割を求められる消防団の担い手となる若い世代の確保に取り組む。在籍する30歳までの団員数を指標とする。							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	28年度	29年度	30年度	元年度(予算)
直接事業費	534,527	465,192	567,737	587,926
人件費	21,280	21,680	17,600	17,600
合計コスト	555,807	486,872	585,337	605,526

●施策の評価(CHECK)

4 施策の現状評価

* 30年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

- ・常備消防については、一元化実施から4年が経過し安定して消防力の強化が図られている。
- ・消防団員の充足率は年度末団員数547名による。
- ・消防団組織の充実については、「安全の確保」「負担の軽減」「処遇改善」の内、特に「負担の軽減」について重点的に取組んだ。
- ・消防団配備車両の高機能化の取組みを始めた。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	平成18年の豪雨災害を教訓として、行政、市民共に高い防災意識を持っている。
岡谷市の弱み	地域の財政力。

